

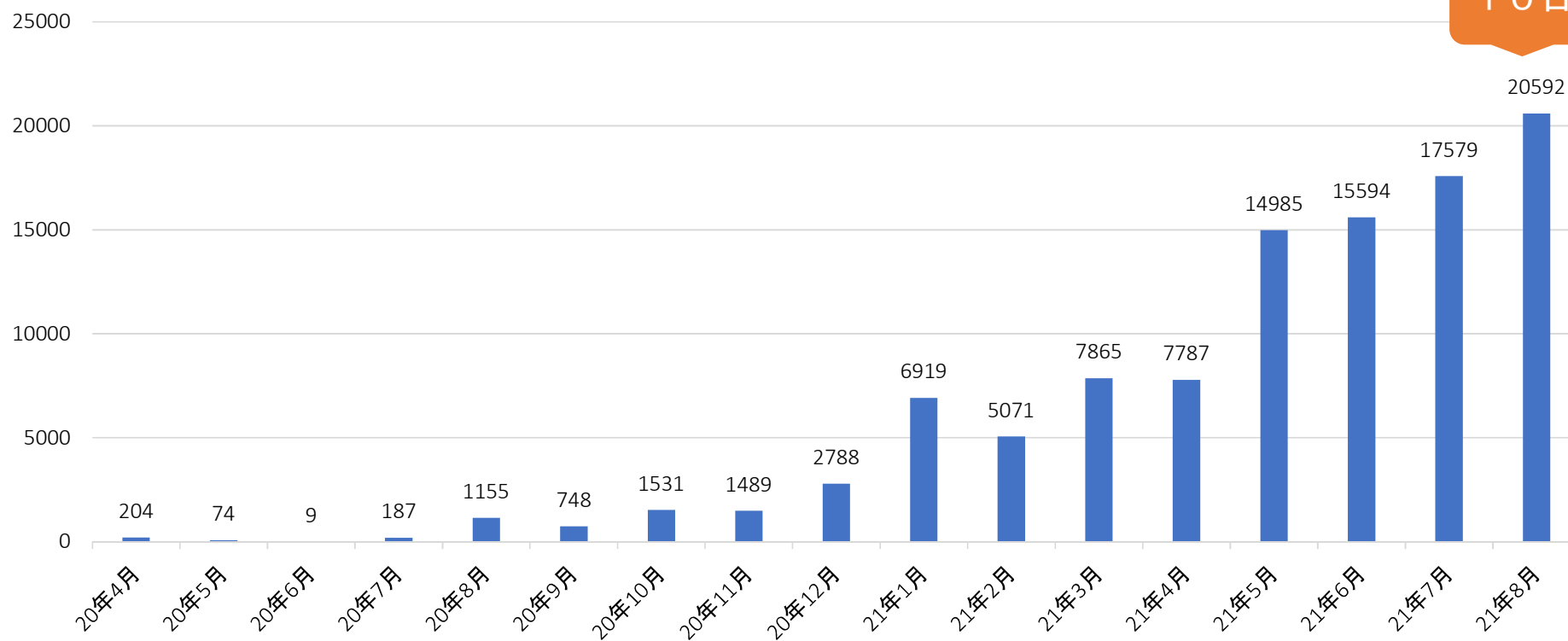
子どもたちのコロナから守るのは 大人の覚悟が必要

島根大学医学部小児科
小児リエゾン

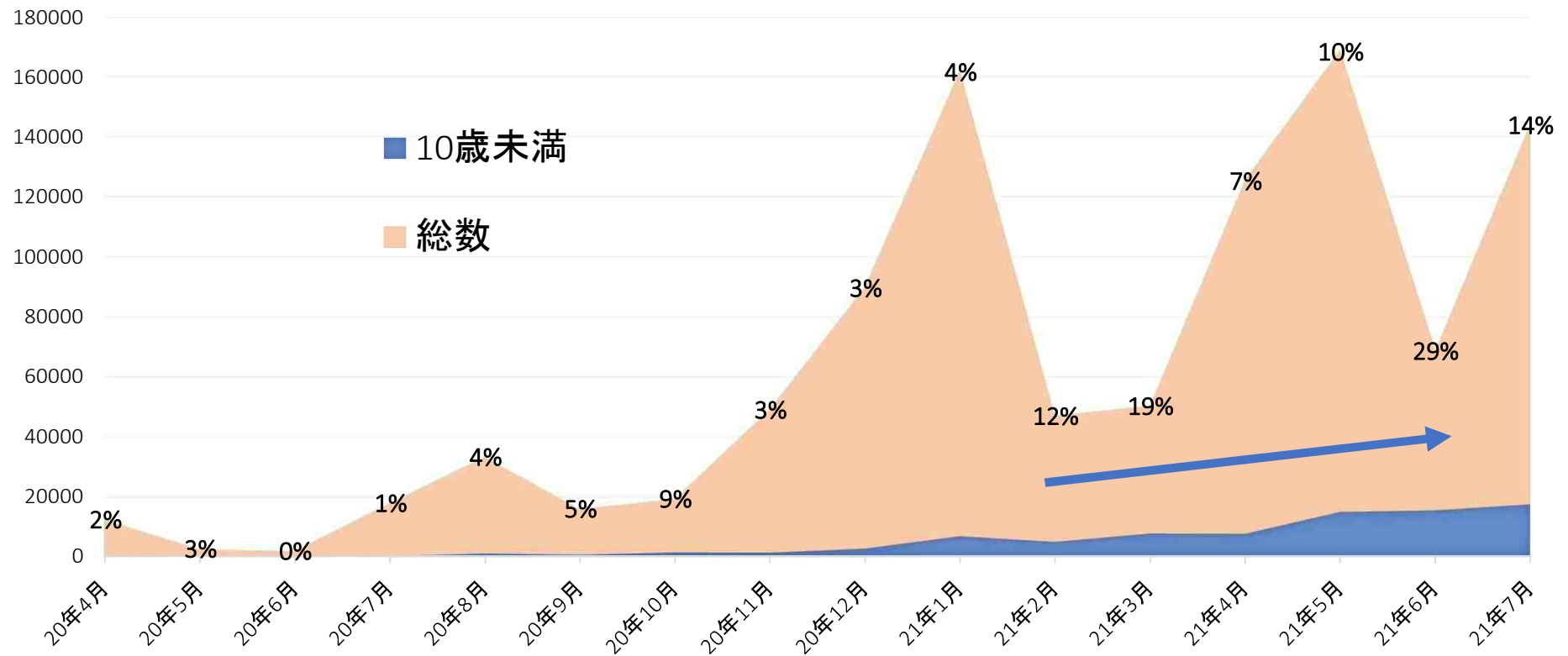
竹谷健

増え続ける子どもの患者数

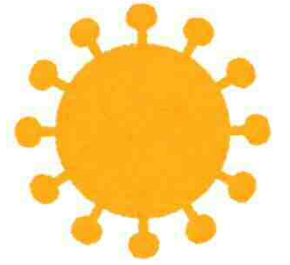
10日間で！



成人の患者数に関わらず増加！



コロナは災害

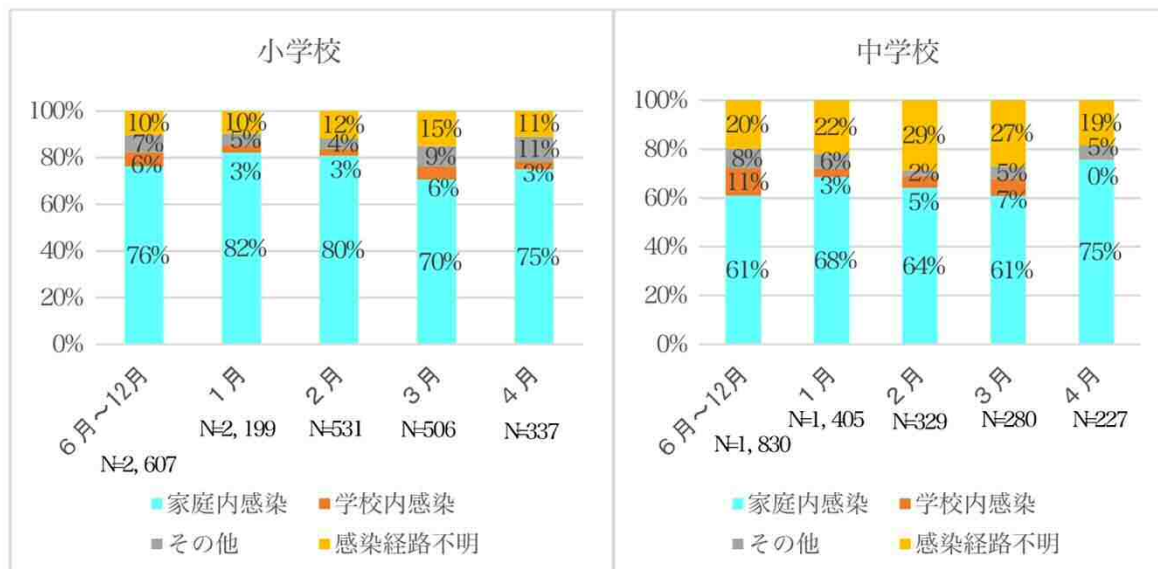


見えない Clear

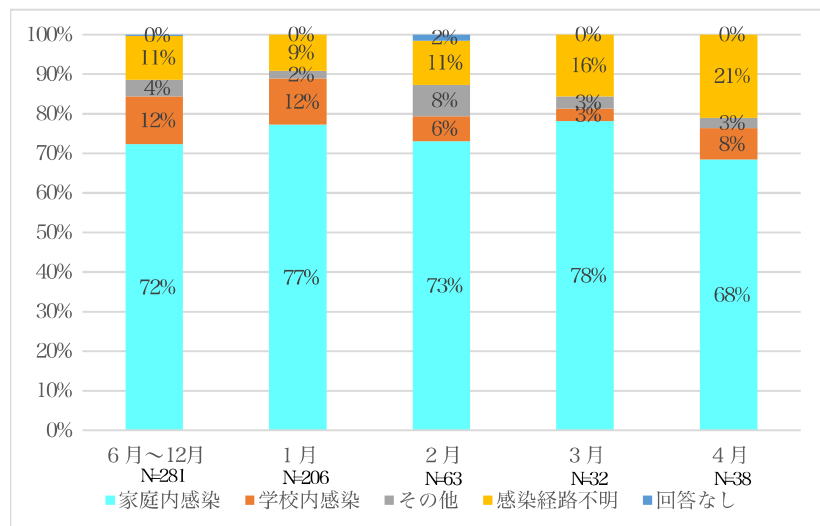
聞こえない Silent

大人による人災

子どもの感染源は家庭内



<幼児の感染経路の動向> ※令和2年6月1日から令和3年4月15日まで（陽性判明日で集計）



自宅で感染を防ぐことはできない

自宅が3密（密閉、密集、密接）

- ・ PPEつけることができない
- ・ 子どもは親と一緒にいないと生きていけない



自宅でもマスクつけることはできない



島根県の患者さんの感染源

県外に行く

県外に行ったヒトと会う

子どもと一緒に生活している大人は
県外に行かない
県外のヒトと会わない

どうしても県外に行くならば・・・

1. 現地での対応

- 飲食はひとりで
- 不織布マスク
- 手洗い

2. 帰省後の対応

- 帰省後の自宅待機期間（14日間）
- 自宅で待機できなければ、コロナ検査（時期は要検討！）

3. ワクチンを接種してから行く

4. 緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の地域はダメ

県外での行動に責任を持つ！
感染して困るのは、
子どもたちとその家族です！

どうしても県外のヒトと会うなら・・・

1. 場所・時間

- 一緒に飲食は避ける
- 不織布マスク、手洗い

2. ワクチン接種後に会う

3. 自宅は避ける

4. 来訪する県外者の条件を決める

- 緊急事態宣言とまん延防止等重点措置はダメ
- 2週間前からの来訪者の健康管理

今、流行っているコロナウイルス（デルタ株）
これまでのコロナと全く違います！

水ぼうそうと同じ感染力

マスクを正しくしていなかったら、必ずかかります！

手洗いをきちんとしていなかったら、必ずかかります！

ワクチンを接種できない12歳未満は、

家族や集団にひとりでも感染者がいたら、必ずかかります！

今、流行っているコロナウイルス（デルタ株）

クラスに**ひとりでも**感染者がいたら、クラス内で**必ず流行！**

これまでほとんどなかった

子どもから子ども、子どもから大人への感染が必発

子どもが感染すると . . .

子どもは、

- 無症状から軽症（咳、嘔吐、発熱、熱性けいれん）
- Long-COVIDあり
- 10日間入院

家族は全員、

- 14～20日間の隔離
→隔離中に感染すると、1か月の隔離

園・学校は、

- 必ず流行：学級閉鎖、学校閉鎖

自宅から出られません
仕事できません
休業補償ありません

子ども、家族、幼稚園、保育所、学校への影響は
計り知れない

園・学校での感染対策

手洗い
マスク
消毒・清掃
換気
3密を避ける
飲食の制限

感染源
を断つ

体調が悪いと休む
健康確認・検温
COCOAの利用

感染経路
を断つ

抵抗力を
高める

食事
睡眠
運動
楽しむ
ワクチン

場所によって異なる対応が必要！
自宅、保育所・幼稚園・学校
部活動・習い事

感染源を断つ

子どもは無症状なのでわからない
(体調で判断できない!)



毎日の健康管理票のポイント

子どもよりも

家族の症状、県外移動歴、県外者との接触

感染経路を断つ

子どもも大人も行うこと

マスク、手洗い（清掃、消毒）

大人が行うこと

換気

大人同士で3密を避ける

大人同士で飲食はしない

場所によって異なる対応が必要！

自宅、保育所・幼稚園・学校、部活動、習い事

マスクは
 口・**鼻**・あごを覆う！
不織布マスク

- 3歳以上
- 室内
- 自宅で遊ぶ時

子ども向け布マスクの正しいつけ方

自分や周りの人たちを守るために、次のことに気をつけましょう。

- 人との距離を少なくとも1メートルあけよう
- 手をこまめに洗おう
- 着用中のマスクを触らないように
- マスクは正しい向きでつけよう



マスクをつける前に
手を洗いましょう



マスクに破損や汚れが
ないか調べましょう



顔に接触するマスクの内側と
鼻に当たる部分を
確認しましょう



マスクの紐を調整して
両側にすき間ができない
ようにしましょう



口、鼻、あごを
覆いましょう



マスクの前面は
触らないようにしましょう



マスクを外す前に
手を洗いましょう



ヒモを持って
マスクを外しましょう



マスクは清潔な袋か容器に
入れて保管しましょう



マスクを外した後は
手を洗いましょう



マスクは最低1日1回、
できればお湯で
洗いましょう



マスクを他の人と
共有してはいけません

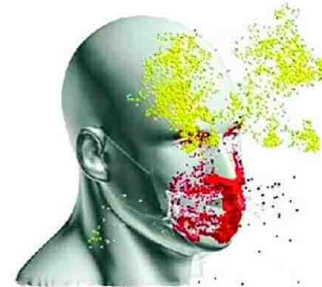
子どもはウレタンマスクをつけたい 「カッコいい、かわいい」



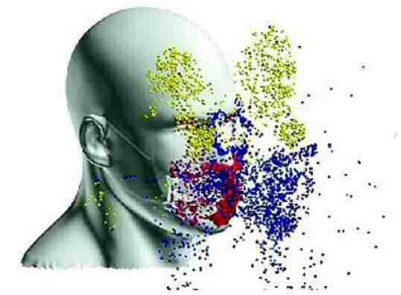
マスクを重ねる！
不織布して、ウレタン

マスクが飛沫を抑える効果

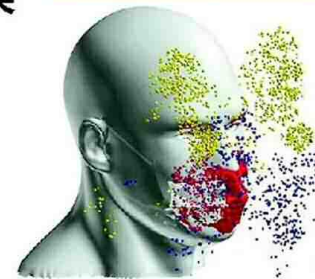
不織布マスク



綿製の布マスク



ポリエステル製の布マスク



- 赤色は多くの飛沫の粒子がマスク内や顔に付着した状態
- 黄色はマスクの隙間から粒子が漏れ出した状態
- 青色は粒子の一部がマスクを通り抜けた状態

(いずれも理化学研究所・豊橋技術科学大・神戸大提供、京都工芸繊維大・大阪大・大王製紙協力)

手洗い

学校で

- 登校時
- 掃除の後
- 給食の前後
- 昼休みの後
- 外遊びの後
- 体育・音楽・部活動の後

学校でも自宅でも

- トイレの後
- 咳・くしゃみ、鼻をかんだ後



教室に入る時に手洗い
登下校時に手洗い

抵抗力を高める

12歳以上はワクチン

楽しむ

- 子どもに対する制限はこの上ない苦痛！
- 子どもたちに楽しみを提供する！
家庭、園、学校

ワクチンで子どもを守る

デルタ株も発症を防ぐことはできるが
子どもはワクチン接種できない



大人（親・教師など）が接種

12歳以上

ワクチン接種＋正しいマスクの着用＋頻回の手洗い

子どもを守るのは
大人の使命

感染者はいつでもどこからでも出ます

感染者を**ゼロにはできない**

保育所・幼稚園・学校＋自宅

感染を広げないことが大切

12歳以上のワクチン接種

感染対策の再確認

子どもと家族の健康管理票

鼻を覆う不織布マスク、動いたら手洗い

県外に行かない、県外のヒトと会わない